

学校教育目標

夢・命・絆

夢 に向かっていく生徒
命 を大切に作る生徒
絆 を互いに深め合う生徒



須和田が丘

令和5年度
学校だより No. 1
令和5年4月14日

市川市立第二中学校
校長 杉山 哲

ホームページ <http://www.dai2-tyu.ichikawa-school.ed.jp/>

令和5年度 新体制で“チーム二中” スタート

3月31日付で、3名の職員が定年退職（うち1名は再任用で本校継続勤務）され、7名の職員が異動いたしました。これまで二中を支えてくださった先生方、ありがとうございました。

そして、このたび、新たに12名の職員が着任し、令和5年度がスタートしました。着任式・始業式では、生徒たちが着任した職員を温かく、立派な態度で迎えてくれました。今年度も“チーム二中”として、これまで受け継がれてきた第二中学校の伝統と様々な取組を大切にしつつ、新しい息吹によって、教育活動の一層の充実と発展に努めてまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

今年度の転入職員 ※（ ）は前所属

ホームページ版では、個人名等の個人情報に記載しておりません。

第77回入学式 217名の新入生が入学

4月12日（水）、強風ではありましたが春の陽ざしに恵まれ、第77回入学式を無事挙行できました。今年度の新入生は、217名です。登校直後、掲示板に自分のクラスを確認する新入生の姿からは、緊張感が伝わってきましたが、入学式本番を迎えると、胸を張り、堂々と入場することができました。また、式の最中の態度も大変立派でした。中には、自分の名前が呼ばれる少し前から姿勢を正し、元気な返事をしようと、準備万端整えて待つ生徒も見られました。そのような姿や「はい」という大きな返事から、中学校生活をしっかり過ごしていこうとする、決意を感じ取ることができました。



式辞の中で新入生には、「『希望』を持って日々自分を磨いてほしい」「『人はみんな一人一人が、ありのまま、そのまま価値ある存在だ』ということ、いつまでも忘れずにいてほしい」という願いをしました。具体的には、何かひとつ自分が一生懸命に取り組むことができることを見つけしてほしいということ、自分のことも周囲の人たちのことも「かけがえのない存在」として大切に、たくさんの人と素晴らしい繋がりを築いてほしいということを伝えました。

いよいよ新入生が入学し、全校生徒670名がそろいました。目指す生徒像である「夢に向かっていく生徒」「命を大切に作る生徒」「絆を互いに深め合う生徒」を達成していくためにも、二中職員一同全力で応援します。ご家庭でもサポートをよろしくお願いいたします。

学校だより “須和田の丘”

弥生時代中期の遺跡として全国的にも有名な「須和田」ですが、「須和」はもともと「湿地」という意味があり、その湿地帯に田をつくったことが「須和田」の由来だと言われています。その丘の上に位置する第二中学校の学校だより「須和田が丘」を通して、今年度も学校の情報を発信してまいります。発行につきましては、必要に応じて適宜としてまいりたいと考えております。よろしくお願いいたします。

最終下校時刻の変更について

市川市では、教職員の働き方改革の観点から令和5年4月から教職員の退勤時刻の指標を19:00と設定しました。

そのために生徒の最終下校時刻は、市内の全中学校統一で、**4月～9月が17:30、10月～3月が17:00**となります。部活動等、放課後の活動時間の確保のため、各学校で教育課程の工夫が必要となります。本校では昨年度より試行しておりましたローテーション日課を継続することにより、放課後の「主体的な学び」の時間を確保してまいります。